

No.152 (不定期配信)

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社、本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

「ガチ中華」ワールドへの誘い

日本で「ガチ中華」と言われるディープ中華料理の人気が高まっている。巷では様々な定義があるようだが、いわゆる「和風中華」とは一線を画した、中国人シェフが作り中国人が普段から食べている本場の料理を指すことが多い。決して美食家ではない私だが、「中国住み」の端くれとしてこのネタに参戦しないわけにはいかない。ゲテモノ系など過激なモノは控えるが、「中国でポピュラー」「日本でも食べられる」をコンセプトにライトなガチ中華を紹介してみたいと思う。

★ ★ ★ ★ ★

まずは定番の麻婆豆腐。四川料理の代表格だが、本場の味は花椒（ファジャオ）がたっぷり入った痺れる辛さが特徴だ。発祥は四川省成都に本店を構える「陳麻婆豆腐」。私は出張や旅行のたびにこの店を訪れ、ひたすら辛さと戦っている。小ぶりの土鍋で提供され、これで白飯3杯はイケる。東京や名古屋、大阪などにも店舗があり、気軽に本場の味を楽しむことができるのは嬉しい。

お次は蘭州牛肉麺。その名の通り、甘肅省蘭州の名物料理だ。モチモチの手打ち麺と牛肉を煮込んだコクのある透明なスープが特徴。ネギやパクチーをたっぷり入れ、ラー油で味を引き締める。店にもよるが、麺の太さは数種類から選べる。オススメは蘭州に本店を構える「馬子禄（マーズルー）牛肉面」。地元では朝食として食べられることも多く、1杯8元（約150円）というお手頃価格だ。本店で食べた一品は、自分史上最高の牛肉麺だった。東京神保町にも進出している。

なお、台湾では牛肉麺と言うと、煮込んだ牛肉と醤油ベースの濃いスープの「紅焼牛肉麺」が定番になる。即席麺最大手の康師傅（カンシーフ）でも売れ行き No.1 の味だ。

ガチと言えば火鍋も外せない。この言葉、中国で

は広く鍋料理を指すが、重慶火鍋などの激辛タイプが一番人気だ。唐辛子や花椒、各種香辛料が入った真っ赤な鍋底（スープ）は見るだけで汗をかいてくる。具材は本場で人気の毛肚（センマイ）や鴨腸などモツ系を中心にオーダーしたい。定番の「海底撈（ハイディーラオ）」もいいが、モダンチャイニーズ風のインテリアが映える「譚鴨血」などの“リアルガチ勢”も攻めてみよう。派生形でミニ火鍋風の麻辣湯（マラータン）もあるが、このジャンルでは「楊国福」の一択だろう。

少々ディープだが、湖北省武漢の地元グルメ「周黒鴨（ジョウヘイヤー）」も挙げておきたい。看板商品はオリジナルの「ピリ辛アヒルの鹵菜（ルサイ＝中華香辛料に漬けた惣菜）」。「鴨脖（ヤーボー）」という首肉をしゃぶりつくように食べるのだが、独特の風味や匂いも重なり、日本人には若干グロテスクかも……。中国では軽食やおつまみの代表的国民食だ。日本では中国人が多く住むエリア（埼玉県西川口など）に出店している。

番外編だが、白酒（バイジウ）もガチ感が増す。アルコール度数50度以上の無色透明な酒をおちょこグラスで一気に飲み干せば、一目置かれること間違いなし。ガチ過ぎて引かれるかもしれないが。

★ ★ ★ ★ ★

ガチ中華では辛い料理や派手な店構えなどが注目されがちだが、本場の料理ならいずれも立派なガチ系だ。おなじみの北京ダックや山東の水餃子、山西の刀削麺などから、新疆の羊肉串、広東の煲仔飯（中華風釜飯）、福建の魚丸湯（魚のつみれスープ）など料理の数だけガチ中華がある。「ガチ中のガチ」を目指し、自分ならではのガチ中華ワールドを作ってみてはいかがだろうか。私も「ガチ王」を目指して日々精進していこう。まあ、まずは上海ロックダウンの「ガチ封鎖」から抜け出すことが当面の目標ですが……。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

【免責事項等】

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2022 年 5 月 30 日
審査部審査済